

## 海外安全対策情報（2020年1月～12月）

在スペイン日本国大使館

### 1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### （1）スペインでの犯罪発生状況（2019年）

スペイン内務省統計によれば、2019年の一般犯罪件数は、2,201,859件となっている。

窃盗は減少傾向にあるものの、全体的に依然として高い水準で推移している。

主な犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	強盗・脅迫	傷害	窃盗 (すり・置き引き等)	窃盗 (侵入窃盗)	窃盗 (車両窃盗)	薬物犯罪
332件	66,209件	19,974件	700,477件	98,520件	35,248件	16,268件
(+14.9%)	(+9.8%)	(+9.2%)	(-1.8%)	(-8.1%)	(-1.8%)	(+15.1%)

#### （2）邦人被害発生状況（2020年）

当館及びバルセロナ総領事館が認知したスペイン国内での邦人犯罪被害件数は86件。

被害内訳は、引き続き、スリ（31件）及び置き引き（29件）が大部分を占めている。

（4半期ごとの被害件数内訳）

1月～3月：75件、4月～6月：1件、7月～9月：6件、10月～12月：4件

#### （3）邦人被害事案

- ホテルでのチェックイン手続き中、あるいはレストラン等での飲食中に、足下や座席に置いた鞆を置き引きされた。（多数）
- 交通機関での移動中や、買い物中等に気付かない間に鞆から貴重品類を抜き取られた。（多数）
- ホテル前の通りで、男に声をかけられ話していると、突然背後から数人の男たちに羽交い締めにされ、鞆と首にかけていた貴重品袋を奪われた。
- 長距離バスで移動中に居眠りをしてしまい、気がつくと貴重品類が鞆から抜き取られていた。
- バスから下車し、徒歩で移動していたところ、後方から走ってきた男に肩にかけていた鞆をひたたくられた。
- 観光地で写真を撮りながら歩いていたところ、気がつくと鞆が開いており、貴重品類が抜き取られていた。

### 2 テロ・爆弾事件発生状況

2004年にマドリードで同時多発列車爆破テロ事件が、2017年8月にバルセロナ等で車両による通行客襲撃事件が発生している。これらの事件以外にも、テロ計画が準備段階で摘発される、紛争地域向け戦闘員の勧誘や派遣が摘発される等、依然として国内での活動が確認されている。

スペイン内務省は、テロ警戒のレベルを「4（高い脅威）」（全5段階）と評価しており、スペイン治安当局によるテロ警戒及び治安強化が継続されている。

### 3 誘拐・脅迫事件発生状況

当館及びバルセロナ総領事館として、邦人被害事件は認知していない。

### 4 日本企業の安全に関する諸問題

当館及びバルセロナ総領事館として、認知している問題はない。